＜平成 27 年 2 月 19 日発表＞

西鉄沿線の農業振興を目指して

『株式会社 ＮＪアグリサポート（仮称）』を設立します

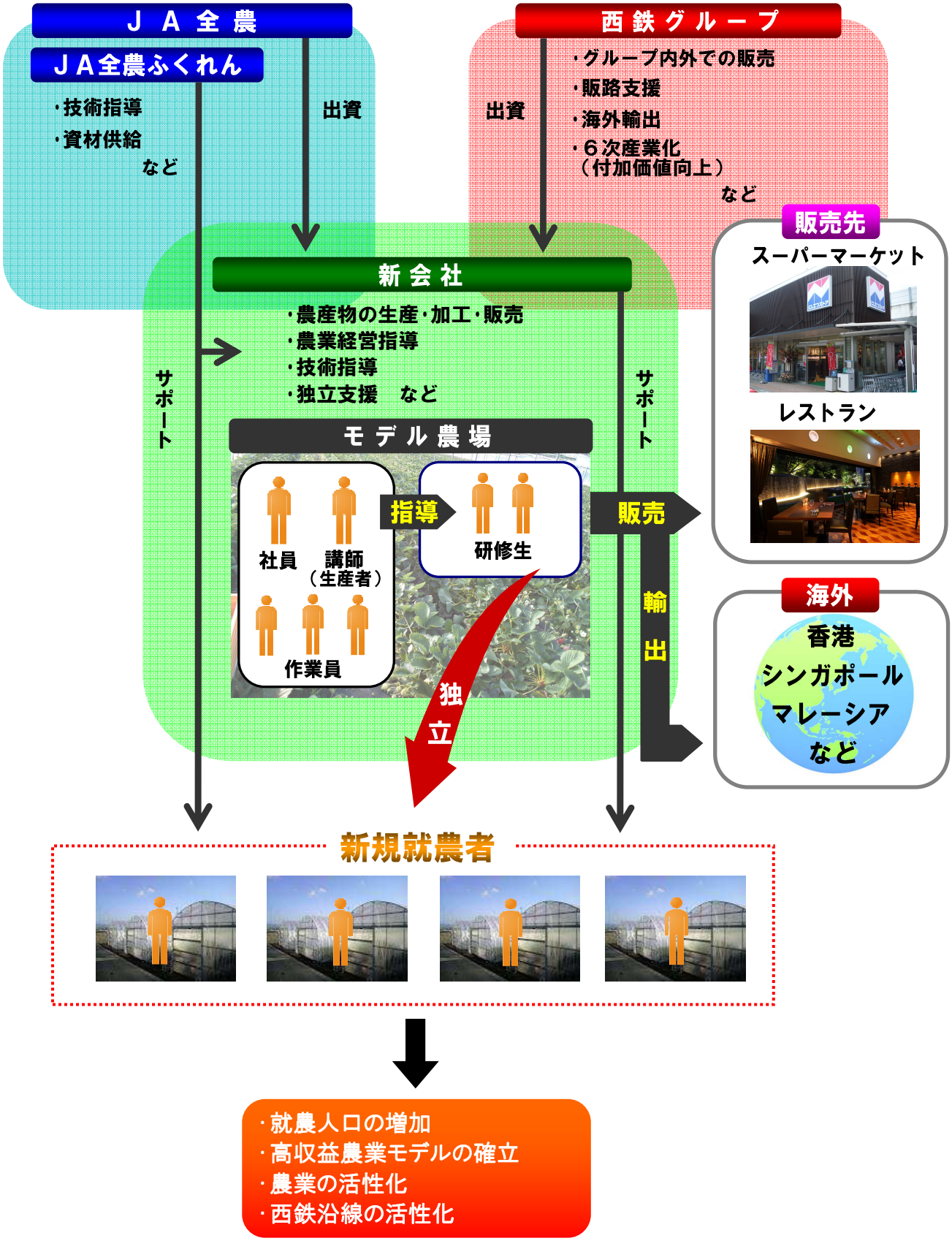
―西鉄と JA 全農の協同事業―

- 西日本鉄道㈱と全国農業協同組合連合会（以下 JA 全農）〔本所：東京都千代田区　代表理事理事長：成清一臣〕では、平成 27 年 3 月 13 日（金）に「株式会社 NJ アグリサポート（仮称）」を設立いたします。
- 現在の日本の農業を巡っては、就農者の高齢化による生産面積の減少や後継者不足による就農者の減少など多くの課題が指摘されております。福岡の農業も同様に、生産面積、就農人口ともに落ち込みをみせております。このような課題を解決するため、政府や県、市町村、JA グループ等では農業生産効率の向上や農産物の付加価値を高める 6 次産業化、営農者育成、農地集積などの農業活性化策を進めております。
- こうした背景のなか、当社でも「縁線プロジェクト」を立ち上げ、地域と一緒になって「あまおうプレミアムスパークリングワイン」を製造･販売するなど、6 次産業化の取り組みを行ってまいりました。
- その取り組みをさらに推し進めるため、このたび、当社が持つ商品企画、販路などのノウハウと JA 全農の持つ営農生産指導ノウハウを組み合わせて、総合的な農業振興を目指す新会社を設立することといたしました。
- 新会社では、福岡県の農業生産基盤の維持拡大と就農者の所得向上、農業経営の安定化を目標に、主に農産物の生産･加工･販売と、農業経営や生産技術の実践指導に取り組みます。モデル農場を設置し新規就農者を育成するとともに、高収益農業モデルの確立や大規模雇用型農業モデルの実証にも挑戦いたします。
- モデル農場では研修生を受け入れ、農業に関する深い知識を持つ講師の指導のもとで、いちご「博多あまおう」を栽培いたします。博多あまおうの栽培を通じ、研修生に生産から収穫･流通･販売にいたるまでの技術･知識を学んでいただくことで、今後の福岡県の農業を支える人材を育成いたします。研修後も技術指導や販路開拓などの支援を行うことで、継続的な農業経営をサポートいたします。また、将来的にはいちごだけでなく、アスパラや小松菜、水菜など栽培品種を拡大していく予定です。
- 新会社を通じ、西鉄沿線をはじめとする福岡の農業の活性化に挑戦してまいります。

■ 西鉄･JA 全農 新会社「株式会社 NJ アグリサポート（仮称）」について

【会　社　名】　株式会社 NJ アグリサポート（仮称）
【所　在　地】　福岡県三潴郡大木町
【設　　立】　平成 27 年 3 月 13 日（金）予定
【代　表　者】　松寺 昌文
【資　本　金】　100 百万円
【出 資 比 率】　西鉄 51％　JA 全農 49％
【事 業 内 容】　① 農産物の生産･加工･販売
② 農業経営及び生産技術指導
③ コンサルティング
④ 農作業の請負　など

【事業スキーム】



・就農人口の増加
・高収益農業モデルの確立
・農業の活性化
・西鉄沿線の活性化

■ モデル農場の概要

【所　在　地】　福岡県三潴郡大木町

【栽 培 品 目】　いちご（博多あまおう）

【栽 培 規 模】　約 6,200 ㎡

【投　資　額】　88 百万円

【主 な 設 備】　① ビニールハウス
② 冷蔵庫
③ 農場生産管理システム

【研 修 体 制】　〔研　修　生〕 1 農場あたり 3 名（予定）

〔研 修 期 間〕 1 年間

〔研 修 内 容〕 ①生産技術の習得
②農業経営、流通に関する基礎知識の習得
③労務管理
④生産性分析･経営分析
⑤資金計画
⑥実地研修（小売店舗、流通施設等） など

この件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター（℡0570-00-1010）まで